

2020年度 早稲田大学大学院教育学研究科
 高度教職実践専攻入学試験
 (特別選考入試 (前期日程) : 小論文)

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

小論文注意

1. 解答は横書きとし、楷書で左から右へ書くこと。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。
3. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
4. 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破ったりしないこと。
5. 下書きは、別に配付の下書用紙を使用すること。試験終了後、下書用紙は持ち帰ること。

以下の論題について、1200字程度（1100字～1300字）で解答して下さい。

論題

教員の長時間勤務が社会問題になっています。部活動指導とも絡んで、教員志望者が減少し、各都道府県の教員採用選考の受験者にも影響を与えています。そうしたなか、文科大臣の諮問を受け、働き方改革を検討していた中央教育審議会（特別部会）は2019年1月、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（答申）をまとめました。

答申の内容のポイントを整理すると、①教員、学校、地域が関わる業務を整理し、担うべき仕事の明確化、②「自発的な居残り」とされた時間外の授業準備や部活動などを勤務時間の管理対象に、③時間外勤務の上限を「月45時間、年360時間」と設定、④繁忙に合わせ年単位で労働時間を調整し、休日のまとめ取りをする「変形労働時間制」の導入（2019年1月26日付け朝日新聞）、となります。

こうした動向を踏まえながら、自校における勤務実態の課題を挙げ、自校ではどのように働き方改革を進めているのか、あなた自身の立場を踏まえ、改革にどのように関わっているのかに触れながら、あなたが取り組んでいることを述べなさい。

（注1）ここで言う「自校」とは、現任校もしくは直近の勤務校を指しています。

（注2）あなた自身の立場とは、主幹教諭、主任教諭、教諭などの職層、あるいは教務主任、生徒指導主任、学年主任などを指しています。

